



新緑が鮮やかな季節になりました。
元気にあそびにきてください。
行事にも気軽に参加してネ!



たのしい絵本と紙しばいの会

- ・ 5月18日(木) 10:30~
小さなお子さまのためのおはなし会です。
親子でご一緒にお越しください。
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室

高校生ボランティアのおはなし会

- ・ 6月3日(土) 10:30~
アンパンマンの紙しばいや楽しいおはなしがいっぱい。おはなしのあとには、たのしい工作教室があります。
- ・ 場所 馬頭図書館 じどうしつ

婦人ボランティアのおはなし会

- ・ 6月10日(土) 14:00~
おはなしじょうずなボランティアさんが、昔ばなしの絵本や紙しばいを読んでくれます。
- ・ 場所 馬頭図書館 じどうしつ

読書会

- ・ 6月14日(水) 13:30~
テキスト「清貧の思想」中野孝次/著
和やかな雰囲気です。
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室



今月の表紙

四月十一日、満開の桜の下で行われた馬頭小学校の入学式。
大きな期待とちよっぴりの不安が、胸につけて新しい名札をお母さんにつけてもらっていました。
式典で、新入生は来賓や保護者の皆さん、先生たちから大きな拍手で迎えられ、校長や来賓の方々の話を緊張した表情で聞いていましたが、名前を呼ばれると元気に返事をしていました。

なかよしひろば

- ・ 5月18日(木) 午前10:00~
小さいお友だちと保護者のみなさん一緒に楽しく遊びましょう。
初めての方もぜひお気軽に参加してください。
参加費 50円(おやつ代)
申し込み 17日(水)まで

映画会

- ・ 5月20日(土) 午前9:30~
内容 「モンスターズ・インク」
お友だちを誘ってみんなできてね。

チャレンジゲーム大会

- ・ 5月27日(土) 午前10:00~
いろいろなゲームにチャレンジ!
最高記録は誰かな?ぜひ挑戦してね。
参加申し込み 25日(木)まで

生け花教室

- ・ 5月27日(土) 午後1:30~
お家の玄関や床の間などにお花をかざりましょう。はじめてでも大丈夫!
ただ今、新会員募集中です。
・ 講師 森嶋恵美子先生
・ 費用 花代 700円
・ 申し込み 24日(木)まで

なかよしひろば

- ・ 6月2日(金) 午前10:00~
しゃぼんだまあそびをしよう。
参加費 50円
申し込み 5月31日(水)まで

折り紙教室

- ・ 6月10日(土) 午前10:00~
伝承折り紙や遊べる折り紙などを楽しく作ろう。

「児童館」
5月16日~6月15日
のお休み

開館時間 午前9時~午後5時

☎0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
		5/16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	6/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15		

焼き物の歴史

那珂川町の文化財シリーズ

緑の葉の美しいさわやかな季節、あちらこちらへ出かけたくくなりますね。馬頭の小砂地区へ向かっていくと、たくさんさんの小砂焼の窯元があります。小砂焼を買うだけでなく、自分で実際に体験することができます。窯もあります。

小砂焼は、今から二七〇年前の一、八三三年に、領内での陶器生産をめざした水戸藩主徳川齊昭公により良質の粘土が見つけられて始まったとされています。最初は粘土を水戸まで運んで焼いていました。その後、幕末の一、八五〇年代に小砂で御用陶器として焼かれるようになり、やがて民間の窯も造られるようになりま

した。今でも、地域の伝統工芸品として私たちになじみが深い焼き物です。

小砂の粘土は古くから知られており、小砂で焼き物が焼かれるようになったのは遙か昔にさかのぼります。すでに今から一、二一五〇年前ごろには、ここで窯業が行われていました。その遺跡が、現在の国山

窯の敷地内にある小砂古窯跡群です。ここでは奈良時代中ごろから平安時代初めにかけて、登窯を築いて須恵器という硬い土器が焼かれていました。小砂古窯跡群の発掘では、須恵器の坏(皿よりもやや深い器)、盤(皿よりも浅くやや大きい器)、壺、瓦、円面硯(丸い形をした硯)などが見つかっています。

ここで焼かれた土器はどこので使われたのでしょうか。硯は、墨と筆とともに文字を書く時に使う道具で、文字を扱う役所などで使われたものです。このことから、小砂古窯跡群で焼かれた土器は、那珂川を挟んで、旧小川町の梅曾地区にある那須郡梅曾跡を中心に使われたと考えられています。

那須郡梅曾は那須地域全体をまとめる郡の役所で、近くには奈良時代の都平城京と東北地方を結ぶ幹線道路、東山道が通っていました。小砂古

窯は、この郡衙で使うための土器を焼いていました。

馬頭ではもう一カ所、国道二九三号線のバス停「川崎入口」近くに、荒神平窯跡という窯跡があります。ここでも奈良時代に登窯が築かれ、瓦が焼かれていました。この瓦も那須郡衙の屋根を葺くのに使われました。

馬頭の窯業は、那須郡衙のためのものでした。つまり平城京を中心とする統治機関が中心になって進められ、この地を焼き出したのです。この地は燃料となる八溝山地の豊かな森林と、良質の粘土と、窯業には欠かせないものがそろった一大窯業産地だったのです。

馬頭の焼き物は、このように奈良時代から続く長い歴史を持っています。

(なす風土記の丘資料館 学芸員 永森 裕子)



小砂古窯跡群出土の須恵器



古代役人の文房具(円面硯は小砂古窯跡群出土)

うぶごえ

おくやみ

(氏名) (父母の名) (住所)

(氏名) (年齢)

(住所)

渡邊 結心	森島 乃夢	永森 光騎	永森 将大	大金 淳嗣	井上 星風	佐藤 寧祢	細澤 さくら
麻 勲	好 江	裕 也	優 昇	宣 之	拓 也	恵 浩	明 倫
馬 頭	馬 頭	小 川	小 川	小 川	小 川	谷 田	三 輪

お詫びと訂正
四月号に掲載した人口に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

4月1日現在の人口

(住民基本台帳)

男	10,173人 (-18)
女	10,195人 (-22)
計	20,368人 (-40)
世帯数	5,984 (+2)

()内は前月との比較

5月1日現在の人口

(住民基本台帳)

男	10,129人 (-44)
女	10,160人 (-35)
計	20,289人 (-79)
世帯数	5,979 (-5)

()内は前月との比較

伴 益子	岡下 アヤ子	岸 ツヤ	船見 ハナ	船見 登	小泉 充	佐藤 政之	川上 宗男	伊藤 義夫	山根 一郎	屋代 キクエ	高橋 ミノ	塚原 次	小口 正一	佐藤 文男	五十嵐 初江	山口 日出子	鈴木 萬龜子	鈴木 貞子	岩倉 春江	
キノイ	勇一	ツヤ	ハナ	登	充	政之	宗男	義夫	一郎	キクエ	ミノ	次	正一	文男	初江	日出子	萬龜子	貞子	春江	
(85)	(60)	(58)	(91)	(91)	(79)	(74)	(69)	(62)	(54)	(62)	(82)	(77)	(94)	(76)	(62)	(77)	(64)	(89)	(86)	(82)
浄法寺	三輪	高岡	片平	小川	小川	小川	小川	小川	小川	大山田郷	谷川	富山	松野	松野	久那瀬	健武	健武	馬頭	馬頭	